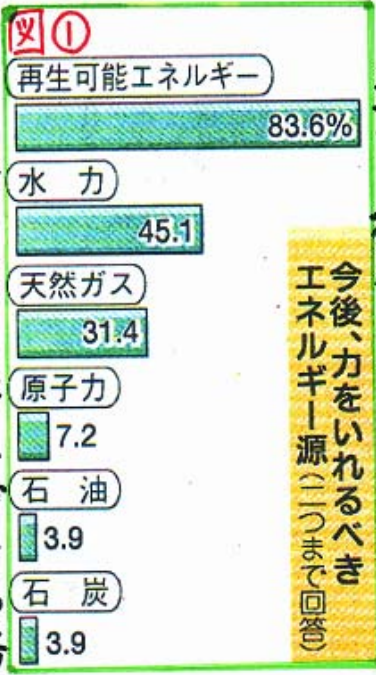


《現状》

先日、エネルギーに関する世論調査が行われました。図①は、今後力を入れるべきエネルギー源について聞いた結果を示したグラフです。太陽光や風力などの再生可能エネルギーに圧倒的な支持が集まっています。再生可能エネルギーとは、化石燃料を使う火力発電や、ウランを燃料とする原発と違い、利用しても基本的に資源がなくなりません。ぼくは、再生可能エネルギーの中でも、太陽光発電について調べました。現在、佐賀県は太陽光発電の普及率が、八年連続全国一位です。

図②は太陽光発電の補助制度を示した資料です。嬉野市は一キロワットあたり三万円(上限十万円)の設置費用補助を行っています。これから太陽光発電を設置し



ようと思う人がますます増えると思われれます。

《課題》

太陽光発電は、日光が当たりにくい場所では、あまり発電できません。だから、屋根にあまり日光が当たらない家にはむいていません。さらに、補助は出るといっても、二百万円以上の設置費用がかかるため、電力買い取りをしてもらっても、日光があまり当たらない場所に設置すれば、赤字になってしまいます。設置する時は、設置費用と設置場所の発電能力をしっかり調べなければなりません。

自治体名	補助の概要	備考
佐賀県	1kwあたり2万5千円(上限10万円)	
佐賀市	1kwあたり3万円(上限10万円)	
武雄市	1kwあたり3万円(上限10万円)	
鹿島市	1kwあたり3万円(上限10万円)	
嬉野市	1kwあたり3万円(上限10万円)	
神埼市	1件につき20万円	
有田町	1kwあたり2万円(上限8万円)	予定枠終了、20件を追加予定
江北町	1kwあたり5万円(上限20万円)	予定枠終了
白石町	1kwあたり3万円(上限10万円)	

### △解決策(自分の考え)△

東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の後、エネルギー問題に関するニュースが毎日のように流れています。化石エネルギーはこのまま使い続けると、石油が四十年、天然ガスが七十年、石炭が二百五十年でなくなってしまうといわれています。そう考えると、エネルギー問題は、原発事故以前からわたしたちに切実にせまっている問題だったのです。

佐賀県は、高い建物が少なく、日照時間も長いので、太陽光発電にむいている場所がとても多いのです。たくさんの方が太陽光発電を設置してくれたらいいなと思います。

太陽光発電を含め、再生可能エネルギーを有効に活用して、持続可能な社会をつくり、世界中の人がずっと幸せに暮らせるようにしていきたいでしょう。

## 太陽光発電で

「持続可能な社会」をつくらう



六年組